

### 2021年10-12月期 GDP1 次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:籾田健二)は、内閣府より2月15日(火)に公表予定の2021年10-12月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。  
2021年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比+1.5%(年率+6.2%)と予測します。

2021年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比+1.5%(年率+6.2%)と2四半期ぶりのプラス成長を予測する。

民間最終消費は、同+2.2%と予測する。4回目の緊急事態宣言(7月12日~9月30日)の解除後は、外出行動が回復しており、サービス消費を中心に抑制されていた消費の一部が顕在化したとみる。設備投資は、同+1.1%と予測する。経済活動再開により投資再開の動きが広がるも、仕入価格上昇によるコスト増加もあり、緩やかな回復にとどまったとみる。民間在庫は、経済活動の再開に伴い、財からサービスへの消費揺り戻しが進んだことから、流通在庫が増加し、+0.1ポイントのプラス寄与を見込む。

輸出は中国経済の減速を主因に、同▲0.2%と2四半期連続の減少を予測する。輸入は同▲1.9%と減少を予測する。外需寄与は+0.3%ポイントのプラス寄与を見込む。

図表 2021年10-12月期 GDP速報 予測結果

単位: 断りがない限り 季調済前期比(%)		2021年			
		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 予測
実質GDP		▲0.7 (▲2.9)	0.5 (2.0)	▲0.9 (▲3.6)	1.5 (6.2)
	季調済前期比年率				
民間最終消費		▲1.1	0.6	▲1.3	2.2
民間住宅投資		0.9	1.0	▲1.6	0.6
民間企業設備投資		0.4	2.0	▲2.3	1.1
民間在庫	寄与度	0.1	0.0	0.1	0.1
政府最終消費		▲0.6	0.7	1.0	▲0.7
公的固定資本形成		▲1.5	▲2.6	▲2.0	▲2.5
財・サービス 輸出		2.3	2.5	▲0.9	▲0.2
財・サービス 輸入		3.2	3.9	▲1.0	▲1.9
内需	寄与度	▲0.6	0.7	▲0.9	1.2
	民需	▲0.4	0.7	▲1.0	1.5
	公需	▲0.2	0.0	0.1	▲0.3
外需	寄与度	▲0.1	▲0.2	0.0	0.3
名目GDP		▲0.7 (▲3.0)	0.1 (0.2)	▲1.0 (▲4.1)	0.6 (2.5)
	季調済前期比年率				
GDP デフレーター	前年同期比	▲0.1	▲1.1	▲1.2	▲1.5
国内需要 デフレーター	前年同期比	▲0.5	0.3	0.5	1.2

注:表中の実績値は2021年7-9月期2次QE。シャドー部分が今回の予測値。  
出所:実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

## 本件に関するお問い合わせ先

---

株式会社三菱総合研究所  
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

### 【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済センター 田中康就 綿谷謙吾

電話:03-6858-2717 メール:pecmacro@ml.mri.co.jp

### 【報道機関からのお問い合わせ】

広報部

電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp

---